



● よしだ あきひと / 写真家 (左)

1980年宮崎県生まれ。京都市在住。
滋賀大学教育学部卒業後、2010年から写真家として活動を開始。
広告や雑誌を中心に活動するとともに、個人的な出来事や問題、記憶から出発した作品を多数制作。日経ナショナルジオグラフィック写真賞 2015、ピープル部門最優秀賞など受賞やノミネート多数。

● いけだ たかし / ちりめん街道を守り育てる会第6代会長 (右)

ちりめん街道「池田庄」代表。2019年にちりめん街道を守り育てる会の副会長に就任し、2021年から現職。指定管理事業者として旧尾藤家住宅館長も兼任。

り過ぎてしまうけれど、そこに関わった方の話、尾藤家を興した方たちの話、蔵の中の昔の映像やモノなど、長い時間軸で見ていくと見え方が層になり、写真を撮るにしても目の付け所が変わってきます。ちりめん街道を歩くだけで、時間の積み重ねを感じるものがありました。

― 展示について

まずは、ワークショップ参加者の方が見に来られ、自分が撮った

写真が特別な空間で展示されていることを喜んでもらいたいです。そこから家族や友達など、誰かと来てもらい、次の方へとつながっていく。そして、教えてもらった方が違う誰かを連れてきてくれる。展示を観るということは、一種の対話です。隣に誰かがいると「これどう思う？」と会話が弾み、そして最後に「丹後ってええところやな」に、終着するといいかんと思います。ぜひ、誰かと一緒に来てください。

展示会で新しい発見があると思うので、今からワクワクしています。

池田隆

― 写真ワークショップをとおして

撮影のまち歩きで、はた織り実演所を見てもらえたことがうれしかったです。また、参加者は旧尾藤家住宅の細工に注目して撮影してくれたようで、お屋敷も喜んでいました。

― ちりめん街道について

ちりめん街道の中には、旧尾藤家住宅以外にも宝がたくさんあります。住民は、その良いものによって心を豊かにしてもらっていることに「パシャパシャ丹後」を通じて気付きました。写真という言葉でない表現でつながっていく機会に恵まれ、とてもうれしいです。この展示会をきっかけに、子どもたちには地域の宝を自分たちで見つけて表現してほしいです。そして、ちりめん街道だけでなく、丹後のいろいろな所へ行ってもらいたいです。

写真ワークショップを実施
展示会開催に向け、8月～9月に写真ワークショップ「パシャパシャ丹後」はた織りと共にある暮らしを観る暮らしを覗く」を実施。はた織りと共に歩んできた町並みや暮らしを学んだあと、国内外で活動する写真家の吉田亮人さんから、カメラの使い方や効果的な構図の作り方などを教わった参加者が、旧尾藤家住宅やちりめん街道など丹後

地域を巡り撮影しました。旧尾藤家住宅では、小学生をはじめ幅広い世代の参加者が撮影した写真に加え、吉田さんが撮影した丹後地域のはた織り職人の写真も展示します。
今月号では、写真ワークショップで講師を務めた吉田さんのメッセージと、旧尾藤家住宅館長であり、ちりめん街道を守り育てる会会長の池田隆さんのコメントを紹介します。



京都・Research実行委員会（京都府、与謝野町ほか）では、アーティストの目線や表現をとおして、地域の魅力を見つめなおす取り組みを実施しています。12月3日まで旧尾藤家住宅をメイン会場として、展示会「パシャパシャ丹後」はた織りと共にある暮らしを観る」を丹後地域各所において開催しています。
園 産業観光課 ☎ 43・9012

想像の中に身を置いてタイムスリップして、かつての時代に行ってみたい気持ちになりました。

吉田亮人

― 写真ワークショップをとおして

参加者の方からの「こんなにも世界の見方が変わって、今日はすごく良い1日だった」との言葉をいただき、写真を撮るという意識で1日を過ごすことは、モノの見方を大きく変えると感じました。

― 地域の人の感じ方

今回の参加者は地元の方が多く

おられました。が、第三者の目で写真を撮ったのではないでしょう。か。そして、展示会場という空間で写真作品を見て「これってこの辺で撮ったの?」「これ旧尾藤家住宅の中?」という良いギャップを鑑賞者が感じます。そういった意味で、第三者の視点を体験できる今回の展示会は、大事だと思っています。

― ちりめん街道について

丹後ちりめん発展の中心地だったという話を聞いて、この地域が一朝一夕でできたのではないと感じました。何も知らない「風光明媚な場所だな」と思うだけで通



加悦奥川沿いの柳を撮影する参加者と吉田さん (中央)

展示会「パシャパシャ丹後 - はた織りと共にある暮らしを観る」

- 会 期 12月3日 (火) まで ※ 観覧無料
- 展示会場 旧尾藤家住宅【メイン会場／毎週水曜休館】
京都丹後鉄道天橋立駅【フォトスポット】
丹海路線バス車両内 ほか4会場
- 出 品 者 写真ワークショップ参加者、吉田亮人 (旧尾藤家住宅展示会場のみ)



詳細は展示会ホームページ (KYOTOHOOP) をご覧ください ▶

